

東京・渋谷から日本の文化を国際発信する
ミュージアム連携事業

REPORT 報告書



もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學



平成27年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2015

國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会
國學院大學

目 次

はじめに

國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会委員長

赤井 益久(國學院大學学長) P 2

本報告書について

國學院大學博物館館長 笹生 衛 P 3

國學院大學博物館について P 4

東京・渋谷から日本の文化を国際発信する

ミュージアム連携事業について P 5

実施事業報告

April - May P 7

June - July P13

August - September P21

October P29

November P37

December P43

平成27年度 実施事業一覧 P50

ごあいさつ

國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会委員長

國學院大學学長 **赤井 益久**

グローバル化という言葉を聞かない日はない。グローバル人材の育成も大学の役割の一つである。外国語が堪能で、積極的に海外に出て行くような人材、そのような人をプッシュ型人材と呼んでいるが、それだけでなく、自国の文化を知りその良さを自分の言葉で発信できるプル型の人材育成も重要だと考える。つまりインバウンドを推進できるような人材であり、多様な価値を受け入れるためには、まず自分のアイデンティティ、すなわち日本語や日本文化を知っていることが不可欠である。

幕末や明治維新のころは、わが国がこれまで経験したことのないグローバリゼーションの時代であった。外国の学問が押し寄せる中で、日本古来の思想を尊重する「国学」を研究するために、本学の前身である皇典講究所が創設された。また、本学は、神道精神を研究・教育の理念としている。「産土神(うぶすながみ)」は、土地やその土地に住む人々を守ってくださる神さまで、神道ではずっと、土地の神さまを大切にしてきた。

このようなグローバル化と地域性の精神の観点から、本学が立地する渋谷を起点に、先人たちの膨大な知識と知性を記憶し、貴重史料を有する國學院大學博物館が中心となって、地域と連携しながら日本の文化と歴史を国内のみならず、海外に向けて発信していく取り組みの意義はますます重要になってきている。

本年度も、本実行委員会が「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」として策定した事業は、平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択され、本報告書に示す通り、多様なイベントや取り組みとして展開された。個々の事業はまさしく、グローバル化、地域との連携に力点を置いたもので、多くの成果を得たといえる。本書を通して連携事業の一端をご報告申し上げる次第である。

本報告書について

國學院大學博物館長 **笹生 衛**

平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」の成果報告を本書にまとめた。

日本文化の海外発信について多様な発表と議論が行われた国際シンポジウム、リーフレット・展示解説・Webサイト等の多言語化の取り組み、そして、地域をテーマにした企画展や体験型のフィールドワークを通しての地域に根差した博物館としての取り組み等、今、日本の博物館に求められている重要な課題に対応した事業で構成されている。また、本実行委員会の中核館である当館の理念や機能に基づいた連携事業という観点から、当館が行う単独の事業・日々の運営や取り組みもまた、その一環であると言える。

これらの実施状況は、都度SNSを活用し、インターネットで伝え続けてきた。その記事数や撮影写真は膨大な数に上るが、事業内容を克明かつ臨場感を持って伝える媒体そのものであったといえる。

本報告書は、連携事業の内容をよりわかりやすく伝えるという観点から、SNSのデジタル情報を活用することで、その目的を果たすことができるとの編集方針に立ち、活用したSNSの中でも、特に、詳細な情報が記録されているFacebookの記事を事業報告に転用する形式で編集した。また、Facebookの特徴を生かし、あえて時系列で記事を並べている。日記のように楽しくお読みいただければ幸いである。

國學院大學博物館について

当館は、日本文化の講究に必要な文化財を収集・保存し、学術的な研究成果を一般に公開するとともに、広く学内外の研究教育活動に資することを目的として設置された大学博物館である。その淵源は、昭和3(1928)年創立の考古学陳列室(後の考古学資料室・考古学資料館)と、昭和38(1963)年創立の神道学資料室(後の神道資料展示室・神道資料館)にあり、両組織を統合した学術資料館や、伝統文化リサーチセンター資料館の設置を経て、平成25(2013)年に國學院大學博物館が発足した。

常設展では、校史・学術資産研究センターの所管資料を交えながら大学の歩みを辿り、考古学から見た日本列島の歴史を通観した上で、神道と日本文化に対する理解を深めていくことができる。また、特別展・企画展や特集展示による研究公開事業をはじめ、各種の教育普及事業、博物館連携事業などを通して、社会に開かれた大学の窓口としての役割も担っている。

博物館データ

■ 目 的	博物館法(昭和26年12月1日法律第285号)に準拠し、國學院大學における建学の精神に基づいた日本文化に関する学術資料を広く調査研究、収集、分類、保管、展示するとともに、学術研究の成果の公開、発信を行い、もって研究教育の支援及び社会貢献に資すること。		
■ 事 業	(1)学術資料の調査研究、収集、分類、保管、展示 (2)学術資料に関する調査研究成果の公開、発信 (3)本学の研究教育支援 (4)生涯学習の推進 (5)教育、学術、文化に関する学外機関との連携 (6)その他、本博物館の運営に必要な事業		
■ 施設概要	展示室	1613.99㎡	
	考古収蔵庫	303.87㎡	
	神道・校史収蔵庫	277.88㎡	
	博物館事務室	162.00㎡	
	展示準備室	81.0㎡	
	撮影室	36.75㎡	ほか
■ 構 成 員 (平成27年度)	館 長	1名	
	専任教員	6名	
	学 芸 員	3名	
	事務職員	3名	
	研究員等	2名	
■ 年間入館者数	43076名(平成27年4月1日～平成28年3月16日現在) (参考)28417名(平成26年4月1日～平成27年3月31日)		

東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業について

本事業は、平成26年度文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業」を発展的に事業推進するため、平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」を実施したものである。昨年度に引き続き、國學院大學博物館を中核館とした渋谷区、山種美術館、東洋文庫で構成する國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会(実行委員長・赤井益久学長)が実施した事業である。

昨年度の事業同様、連携館の相互の知的・物的資源の活用と交流を図り、文化芸術・教育・地域振興等の分野で相互に協力し、文化の発展や地域社会の振興、学術研究の向上、人材育成、生涯教育に寄与することを目的とするものであるが、本年度ではさらに「国際発信」に力点を置き、多言語化や海外への日本文化の発信を目的とする多様な事業を実施した。4月28日に実施された國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会会議において図られた事業の方針と、計画のコンセンサスに基づき事業が進められた。

事業構成

■ 事 業 名	東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業		
■ 支援事業	平成27年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業		
■ 実施団体	國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会		
■ 中 核 館	國學院大學博物館		
■ 実行委員長	國學院大學学長 赤井益久		
■ 構成団体	▶公益財団法人 山種美術財団 ▶公益財団法人 東洋文庫 ▶渋谷区		
■ 構成事業	地域文化財	地域・渋谷の文化を発信する……………	渋谷
	多言語化	博物館における多言語サービスの充実………	言語
	地 域	博物館を核にした地域の文化交流……………	地域
	グローバル	日本文化研究拠点の国際連携……………	国際
	新たな機能	日本文化を体験・実感する……………	体験
	本報告書では、文化庁事業として実施した事業区分を上記マークで表記しています。		
■ 実施時期	平成27年4月1日～平成28年3月31日		

April - May 2015

- 企画展「収蔵品展」
 - 笹生館長授業等
 - 資料貸出の学生見学
 - 西南学院大学博物館連携事業
 - 常設展 展示替え（神道）
 -  連携事業実行員会会議
 - 中学生の職場訪問
- …e.t.c.

720 likes 

11 photos shared



April - May 2015

Timeline Photos - April 5th, 2015 at 8:46 PM

97



[INFORMATION／ご利用案内・予告]

國學院大學博物館は、平成27年度4月から日曜開館をスタートしました。休日お出かけの折りにぜひお立ち寄りいただければと思います。また、開館時間も1時間延長し18時までとなりました。(入館は17時30分まで)

なお、本年度最初の展示企画は4月13日(月)から始まる「収蔵品展」です。こちらもご期待ください。

Timeline Photos

April 13th, 2015 at 6:42 PM

86

[INFORMATION／企画展]

平成27年度第1回の企画展「収蔵品展」が本日4月13日(月)から開催されました。今回は、校史分野から有栖川流の書跡等、神道分野から年中行事絵巻、考古学分野から縄文土器・弥生土器を出陳しておりますので、ぜひ、お見逃しなく。会期は5月17日(日)までです。



Timeline Photos - April 17th, 2015 at 7:18 PM

69

[REPORT／笹生館長授業等]

本日は、当館の笹生衛館長(國學院大學神道文化学部教授)の授業をはじめ、いくつかの授業で博物館が使用されました。博物館には御社殿の模型や神饌、祭具などが展示されているので、教室で行う授業だけでは得られない学びがあると思います。

國學院大學博物館は様々な授業でご利用頂いております。より多くの先生方、学生の方々に教育・学びの場として博物館をご活用頂ければ幸いです。

写真は当館館長笹生先生の授業風景です。埴輪や鏡についての学生の方々からの質問に、熱心に答えていらっしゃいました。



Timeline Photos - April 18th, 2015 at 12:21 PM

74

[REPORT／資料貸出の学生見学]



國學院大學博物館が所蔵する伝奈良県桜井市ホケノ山古墳出土の画文帯神獸鏡が、大阪府立弥生文化博物館において5月1日(金)から7月5日(日)まで開催される春季特別展「卑弥呼ー女王創出の現象学ー」に出品されます(月曜日は休館)。4月17日の金曜日には、同博物館の担当学芸員が来館し、貸出の業務が行われました。

この時間は、業務にあたった当館准教授深澤太郎先生が担当する「考古学調査法」の授業時間でもあり、約20名の受講者は考古資料のコンディションチェックと美術梱包作業を実地見学する機会を得ました。「考古学調査法」は、発掘調査の方法を学ぶ授業ですが、出土した考古資料の研究成果は、埋蔵文化財発掘調査報告書や、博物館における展示などを通して一般に公開されます。受講した学生は、文化財が活用される現場の雰囲気を実感していたようです。

Timeline Photos - April 19th, 2015 at 5:15 PM

72

[REPORT／西南学院大学博物館資料展示作業]

國學院大學博物館と西南学院大学博物館は2015年度大学博物館連携事業として資料の相互貸借展示を複数回にわたって行う予定です。その一環である相互貸借特集展示Ⅱ（西南学院大学博物館所蔵資料）は、2015年4月20日～9月4日の会期で行われます。

本日は、西南学院大学博物館学芸研究員の内島美奈子氏らが来館し、展示作業が行われました。今回の展示は、「ともし火の系譜ー古代ランプからユダヤの祭具ー」のテーマに基づき、イスラエルを中心に発掘された古代のランプと、ユダヤ教の祭具である燭台を紹介いたします。



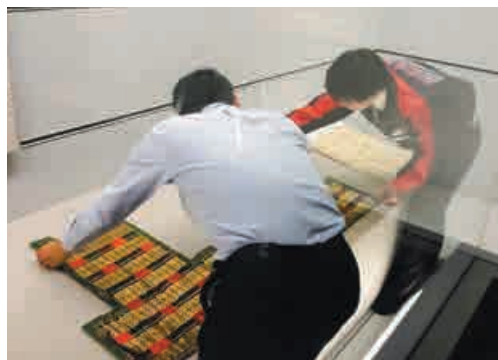
Timeline Photos

April 23rd, 2015 at 7:04 PM

63

[REPORT／常設展 神道資料展示替え]

端午の節句が近づいてきましたので、神道展示室に「挂甲」(甲〈よろい〉)を展示しました。これは、今から100年前、大正4(1915)年11月10日、京都御所紫宸殿において行われた大正天皇の即位の御大礼にあたり、大礼使典儀官・磯谷熊之助が着用したものです。展示は5月中旬までとなります。ぜひ、この機会にご覧ください。



Timeline Photos - May 9th, 2015 at 4:29 PM

77

[REPORT／西南学院大学博物館にて展示作業]



福岡県福岡市の西南学院大学博物館では、4月25日(土)～9月25日(金)の会期で、当館収蔵資料による相互貸借特集展示Ⅲ「聖なる光ー魔鏡ー」を開催しています。

このサテライト展示には、鏡面に光を反射させると、鏡背面もしくは内部に鑄込まれた図像が写し出される魔鏡を出品。國學院大學博物館の服部和彦氏寄贈コレクションには、希少な魔鏡が7面含まれており、その鏡面から放たれる阿弥陀仏の幻想的な画像や名号は、見る者の目を驚かせてくれます。

西南学院大学博物館にも、磔刑のキリスト像魔鏡が収蔵されておりますので、ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

Timeline Photos - May 1st, 2015 at 10:01 AM

事業

68



[REPORT／連携事業実行委員会会議]

当館、渋谷区、山種美術館、東洋文庫との連携による「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」を実施するにあたり國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会会議が行われました。昨年度の実施報告でその成果を確認し、採択された平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に基づく今年度の実施計画の共通認識が図られました。懇親会では交流を深め、実施関係者からは新たな決意も聞かれました。採択された事業は全国全事業中3番目の規模を誇る大型事業となり、その成果が期待されます。

Timeline Photos - May 19th, 2015 at 6:06 PM

63

[REPORT／企画展「教派神道の教祖と儀礼」]

6月1日から教派神道連合会との共催で行う企画展「教派神道の教祖と儀礼」がはじまります。先週、今週と教派神道各教団の方々が、展示資料を博物館に届けてくださっています。展示資料は、教団の教祖(創始者)ゆかりの品々や、儀礼で使う祭具など、様々です。企画展「教派神道の教祖と儀礼」は平成27(2015)年6月1日(月)～6月30日(日)に開催致します。

Timeline Photos - May 28th, 2015 at 5:57 PM

51

[REPORT／中学生の職場訪問]

本日は、職場訪問として当館に國學院久我山中学校の学生が来校しました。将来の自分の職業を考える上で様々な仕事の現場を見学することは素晴らしい機会です。今回は、網谷学芸員、陣内学芸員により学芸員という職業の博物館での具体的な業務や役割について紹介しました。特に、展示資料を管理するために使う実際の道具の解説や、資料のレプリカを使っての展示品の扱い方など、メモをとりながら熱心に話を聞いていました。



June - July

2015

- 企画展「教派神道の教祖と儀礼」
- 企画展ミュージアムトーク
- 幼稚園の博物館見学
- 女子神職装束の展示
-  次々回企画展の準備
- 縄文太郎の登場
- 國學院×和装
- 粽えらび
- 「学びへの誘い」ブロガー内覧会と展示
- 特集展示「夏の祭—祇園祭と天王祭—」
- オープンキャンパス …e.t.c.

1136 likes 

20 photos shared



June - July 2015

Timeline Photos - June 3rd, 2015 at 5:48 PM

83

[INFORMATION／企画展「教派神道の教祖と儀礼」]



平成27年度第2回の企画展「教派神道の教祖と儀礼」が6月1日(月)より開催中です。普段は目にすることができない教派神道に関わる貴重な資料が展示されています。

会期は6月30日(火)までとなりますので、ぜひ足をお運びください。

ミュージアムトークは下記日程で開催予定です。

■ 教派神道教団と「神道」

—国学院大学とのかかわりから—

日時：6月13日(土)15:30~16:00

解説 中山郁(国学院大学教育開発推進機構准教授)

■ 教派神道の創始者は教祖か？

日時：6月20日(土)15:30~16:00

解説 井上順孝

(国学院大学研究開発推進機構長、神道文化学部教授)

Timeline Photos - June 10th, 2015 at 6:12 PM

62

[REPORT／企画展も博物館も大盛況]

6月10日・11日の2日間にわたり教派神道連合会結成120周年「神道講座」が開かれます。本日は講座に出席された方も含め、多数の方が博物館に来館されました。

その他に国学院大学栃木高校父母会などの団体見学もあり、企画展「教派神道の教祖と儀礼」だけでなく、博物館全体が大盛況でした。



Timeline Photos - June 13th, 2015 at 6:48 PM

61

[REPORT／ミュージアムトーク『教派神道教団と「神道」—国学院大学とのかかわりから—』]

本日6月13日、博物館では企画展「教派神道の教祖と儀礼」の関連イベントとして、ミュージアムトークを開催しました。

『教派神道教団と「神道」—国学院大学とのかかわりから—』というテーマで本学教育開発推進機構准教授中山郁先生にご解説いただきました。

中山先生は国学院大学、その設立母体であった皇典講究所と教派神道との関わりや各教団の沿革について言及され、近代以降現代に至るまでの国家制度や時代背景も交えながら、教派神道の形成と展開について詳しく解説されました。

本日のミュージアムトークは80名を超える大勢の方にご参加いただき、皆さん熱心に解説を聞いていらっしゃいました。



Timeline Photos - June 20th, 2015 at 6:56 PM

48

[REPORT／ミュージアムトーク『教派神道の創始者は教祖か？』]

先週に引き続き、博物館では企画展「教派神道の教祖と儀礼」の関連イベントとして、ミュージアムトークを開催。第2回目は『教派神道の創始者は教祖か？』というテーマで、本学研究開発推進機構長、神道文化学部教授の井上順孝先生にご解説いただきました。

レジュメと大型スクリーンに映したスライドを使用しながら、教派神道13派の変遷と各派の創始者を紹介され、教祖を考える上のポイントとして「正しい(新しい)生き方を示してくれたと信者の方々が思っていること」「それも、より多くの人々がそう思っているということ」を挙げられ、「教祖とはなにか」「創始者は教祖か」について詳しく解説されました。本日は100名を超える方が参加され、博物館は大盛況でした。ミュージアムトーク終了後は質問が相次ぎ、井上先生はそのひとつひとつに熱心に答えていらっしゃいました。



Timeline Photos - June 26th, 2015 at 4:09 PM

68

[REPORT／幼稚園の博物館見学]

本日は、45人の國學院幼稚園(神奈川県横浜市)の年長組のみなさんが来てくれました。9つのグループに分かれて、学芸員や大学生のお兄さんお姉さんと一緒に館内を見学しました。

縄文土器やお祭りに関する展示を皆さんとっても真剣に見ていました。たくさんの質問が飛び交い、私たちにとっても刺激的で活気ある時間となりました。

今後も幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。



Timeline Photos - June 29th, 2015 at 4:12 PM

121

[REPORT／女子神職装束の展示]

7月7日 七夕に開催される【國學院x和装】のイベントにちなみ、博物館では週末より「女子神職装束」の展示を行っています。

展示作業では、実際に神道文化学部の方にお越しいただき装束の着付けをしていただきました。

男性用の装束とは違い、その鮮やかな色合いや雰囲気は非常に美しく、見応えがあります。

男性用に比べると、目にする機会が少ない女性用の神職装束。

ぜひこの機会にご覧ください。

7月9日まで、神道展示ブースで公開中です。



Timeline Photos

July 1st, 2015 at 5:10 PM

渋谷

40

[REPORT／次々回企画展の準備]

来月の新しい企画展の準備が着々と進行中です。

先日は、チラシのデザイン選びが行われました。今回はこれまでとは少し雰囲気の違うものが出来上がりそうです。どんなチラシになるかは…もう少し会期が近づくまでの楽しみです。



Timeline Photos

July 6th, 2015 at 3:35 PM

135

[REPORT／幼稚園の訪問と縄文太郎の登場]

國學院大學附属幼稚園(東京都杉並区)のみなさんが博物館に来てくれました。

大学生のお兄さんやお姉さん達と館内を回ったあとは、縄文時代からやってきた縄文太郎が登場！園児の皆さんは大喜びで色々な質問を太郎さんに投げかけていました。その後は、太郎さんと一緒に勾玉づくり。みなさん真剣に自分の勾玉を磨いて、世界に一つだけの素敵な勾玉が完成しました！



Timeline Photos - July 8th, 2015 at 7:03 PM

89

[REPORT / 【國學院×和装】]

7月7日の七夕に行われた【國學院×和装】のイベントで、博物館にも色とりどりの和装の方が100名近く訪れ、館内が華やかに彩られました。

学生さんだけでなく、地域にお住まいの方も和装で博物館にお越しくださいました。

写真の方々は國學院大學の学生さんと留学生の皆さんです。皆さん素敵な浴衣姿で、七夕の日を楽しんでいたようです。夏の訪れを感じる、風情豊かな1日となりました。



Timeline Photos - July 9th, 2015 at 4:40 PM

85

[REPORT / 粽えらび]

神道ブースの次の特集展示「夏の祭—祇園祭と天王祭—」に向けて、展示準備が進行中です。

今日は、「粽(ちまき)」選びをしました。祇園祭の「粽」は食べ物ではなく、厄除け・災難除けのお守りです。この「粽」は、山鉾町ごとによって特徴がさまざま。通常の厄除けに加えて、それぞれの由来に合わせたご利益があり、見た目も異なります。

博物館にはたくさんの「粽」が収蔵されていますが、その全てはお見せできないので、どれを展示するか…皆で検討会です！

特集展示「夏の祭—祇園祭と天王祭—」はあさって、7月11日(土)からの開催です。



Timeline Photos - July 11th, 2015 at 5:21 PM

53

[REPORT / 学びへの誘い ブロガー内覧会]

本日から博物館にて「國學院大學学びへの誘い—明治国家と法制官僚—井上毅歿後120年記念」の展示が始まりました。それに合わせ、開催より一足先に、7月10日(金)午後5時30分からブロガー内覧会が行われました。

この内覧会は歴史、芸術、博物館・美術館巡りに関心をお持ちのブロガーを招き、ブログやfacebookで、本展ならびに博物館をご紹介いただくことを目的として行われました。

内覧会では本学神道文化学部准教授の齊藤智朗先生による展示資料の解説があり、皆さん興味深そうに聞いていらっしゃいました。

「明治国家と法制官僚」の展示は7月11日(土)から8月7日(金)まで開催します。

「梧陰文庫」(本学図書館所蔵)の資料を中心に大日本帝国憲法の草案なども展示しています。是非この機会にご覧ください！



Timeline Photos

July 12th, 2015 at 5:37 PM

79

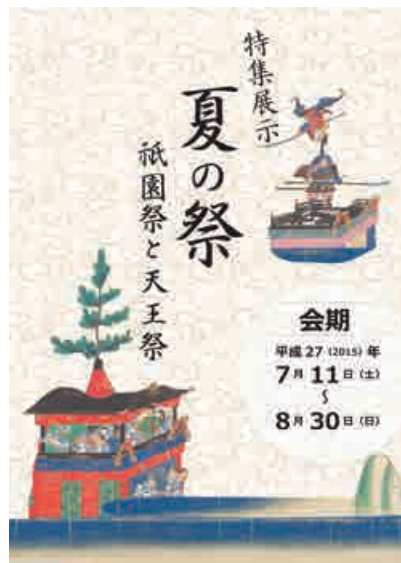
[INFORMATION /

特集展示「夏の祭—祇園祭と天王祭—」

すっかり夏らしい陽気になってきました。博物館でも日本の夏を感じる素敵な展示が始まりました。特集展示「夏の祭—祇園祭と天王祭—」を昨日より神道展示ブースで行っています。

京都の祇園祭、愛知県の尾張津島天王祭、江戸・東京の天王祭に関する資料を展示しています。

今にも祭りの賑わいが聞こえてきそうな美しい絵巻物や資料をこの機会にぜひご覧ください。



Timeline Photos

July 16th, 2015 at 12:36 PM

66

[REPORT / 祇園祭—鷹山の曳山]

先日、京都の祇園祭鷹山保存会の方が来館され、今年から頒布される粽をご寄贈頂きました。文政10年(1827)以降は、鷹山は曳かれておらず休山になっていますが、現在復興を目指していらっしゃいます。

8月末まで開催している特集展示「夏の祭—祇園祭と天王祭—」に展示している『祇園祭礼絵巻』(冷泉為恭、嘉永元年(1848))には、当時は曳かれていませんでしたが鷹山が描かれています。来館は、この御縁によるものです。

『祇園祭礼絵巻』は國學院大學図書館デジタルライブラリーで公開しています。



[INFORMATION / 7月のミュージアムトーク]



明日 7月18日(土)はミュージアムトーク 2本立てです！
参加無料、事前申込不要です。皆さまの参加をお待ちしています。

- 13:30～14:00
『「明治国家と法制官僚—井上毅歿後120年記念—」
展示解説』
講師：齊藤智朗(国学院大学神道文化学部准教授)
http://www.kokugakuin.ac.jp/event/manabi15_2.html
- 14:30～15:00
『夏の祭—祇園祭と天王祭—』
講師：大東敬明(国学院大学研究開発推進機構准教授)
http://www.kokugakuin.ac.jp/oard/museum_h27_gion.html

[REPORT / 7月18日(土)開催ミュージアムトーク]

本日、博物館にてミュージアムトークが開催されました。第1部は本学神道文化学部准教授齊藤智朗先生による「学びへの誘い—明治国家と法制官僚—井上毅歿後120年記念」の展示解説が行われました。

実際の展示資料をみながら井上毅の逸話や、山田顕義・山県有朋・伊藤博文らとの関係性についても触れながら、大日本帝国憲法草案や教育勅語写、書翰など、展示品を1つ1つ解説されました。

第2部は大東敬明先生(国学院大学研究開発推進機構准教授)による特集展示「夏の祭—祇園祭と天王祭—」の解説が行われました。祇園祭・天王祭とは何かということからはじまり、大型モニターを使用しながら、江戸の天王祭について地理的な説明を交え、日本各地で疫病除けの祭礼が夏に行われていたことなどを解説されました。

各回とも盛況で、ミュージアムトーク終了後も熱心に展示をご覧になられる方が多くいらっしゃいました。



[REPORT / オープンキャンパス]

本日も明日は、国学院大学・夏のオープンキャンパスです。

真夏の陽気のなか、博物館にも1日で900人を超える多くの皆さまにお越しいただきました。たくさんの收藏品や研究成果が展示され、学生が実際にモノを見て学ぶことができる当博物館は国学院大学の魅力のひとつでもあります。

また、館内は資料の保存のため涼しい温度に保たれています。熱中症対策としても見学の途中にぜひお立ち寄りください。

明日も博物館は10:00～18:00まで開館しております。



August - September 2015

- 渋谷 企画展「<SHIBUYA>」
- 地域 ワークショップ「探検！ミュージアム」
- 体験 浮世絵イベント
- 次々回企画展の資料調査
- 地域 「世界の宗教を知る」ワークショップ第1回(ユダヤ教)
- 貴重資料レプリカ展示(渋谷ヒカリエ)
- 体験 美術文化フォーラム1
- 西南学院大学相互貸借展示
- 渋谷中央街神輿渡御
- 渋谷 企画展「<SHHIBUYA>」の展示替え
- 渋谷 企画展ミュージアムトーク …e.t.c.

555 likes

26 photos shared



August - September 2015

[REPORT／夏休み特別ワークショップ「縄文土器づくり」・「勾玉づくり」]

地域

白根記念渋谷区郷土博物館・文学館と國學院大學博物館との共催で、今年も夏休みワークショップを行いました。今回は例年になく参加申し込み者が多かったため、両ワークショップとも急遽回数を増やして実施しました。

「縄文土器づくり」

7月25日(土)・26日(日)の二回にわけて行いました。郷土博物館に集合後、國學院大學博物館に移動し、実物の縄文土器を見ながら、縄文人の生活について学習しました。

学習後、郷土博物館の多目的室で、思い思いに縄文土器を作成しました。参加者は大人も子供もあわせて29名でした。

制作した土器は、自宅に持ち帰り乾燥させたのち、8月20日(木)・21日(金)の二回にわけて、渋谷区立恵比寿社会教育館のガス釜で焼成し、完成となりました。

「勾玉づくり」

8月8日(土)・9日(日)に二日にわけて、勾玉をはじめとする古代のアクセサリーを作成しました。参加者は大人も子供もあわせて113名。

郷土博物館に集合後、國學院大學博物館に移動し、古代人のアクセサリーについて学びました。

学習後、郷土博物館の多目的室にもどり作り方を学んだのち、勾玉のほか、オリジナルのアクセサリーを作成しました。滑石を削るという単純な作業ですが、皆さんいつの間にか夢中になり、削った粉で顔を白くさせながら製作する子どもたちもいました。



Timeline Photos - August 4th, 2015 at 6:05 PM

地域 57

[REPORT／夏休み特別ワークショップ「探検！ミュージアム」]

今年も渋谷区と共催で、夏休み特別ワークショップを企画しました。8月2日(日)には「探検！ミュージアム」が行われ、区内の小学生等19名に参加いただきました。白根記念渋谷区郷土博物館・文学館で博物館の仕事について学んだあと、2グループに分かれて國學院大學博物館を探検しました。

それぞれ國學院大學博物館の職員がリーダーとなり、土器を洗ったり資料展示をしたり和鏡の拓本を取ったり……。みなさん博物館の仕事に欠かせない機械や道具に興味津々でした。

普段は入れない収蔵庫に特別に足を踏み入れるなど、珍しい体験にとっても楽しんでくれたようです。



Timeline Photos - August 5th, 2015 at 6:10 PM

渋谷 63

[REPORT／御神輿が博物館に]

本日、次回の企画展での展示に向けて、氷川神社様より博物館に御神輿がやってきました！

職員や学芸員で慎重に館内へ運び入れる作業が行われました。こちらの御神輿は8月22日より行われる企画展＜SHIBUYA＞で公開されます。御神輿をじっくりと間近で見ることができる貴重な機会です。実物はぜひ博物館でご覧ください。

Timeline Photos - August 7th, 2015 at 8:54 PM

体験 41

[REPORT／8月7日(金)浮世絵イベント]

文化庁のミュージアム連携事業「体感！浮世絵摺り実演・体験会」と「夕涼み浮世絵講座」が行われました。「実演・体験会」は昨年度に引き続き、公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団のご協力いただいたの開催。

お子さんからご年配の方々まで約70名の参加者は職人の技に触れた後、摺り体験をしました。

今回は神奈川冲浪裏と尾州不二見原から選んで挑戦し、刷り上がった作品を持ち帰っていただきました。

夕涼み講座は、日野原健司氏(太田記念美術館主席学芸員)と本学教授藤澤紫先生による浮世絵にまつわる幽霊にちなんだ講座。

猛暑には格好の背筋も寒くなるような怖くもあり、また楽しくもある両先生の話に、参加された方は最後まで惹きつけられていました。



Timeline Photos - August 27th, 2015 at 1:06 PM

68

[REPORT／次々回企画展の資料調査]

本日は、11月下旬より開催予定の企画展のために資料調査を行いました。
次々回の企画展となりますが、内容は古典文学に描かれた怪異を絵本・絵巻物で追いながら親しんでもらおうというもの。本学が所蔵する資料は非常に豊富で、保存状態も良く、内容はもちろん、見た目にも大変鮮やかな色彩が残った美しいものです。
早く皆さまにお見せするのが楽しみです。



Timeline Photos - August 22nd, 2015 at 3:19 PM

渋谷

66

[REPORT／企画展＜SHIBUYA＞開催]

オープンキャンパス日が開催初日となった企画展＜SHIBUYA＞(会期：8/22～9/30)。大勢の高校生と保護者の方だけでなく、インターネットや新聞記事を見て来館されたたくさんの観覧者ににぎわいました。
勇壮で煌びやかな渋谷中央街神輿とピンクのかわいらしいデコレーションハチ公(通称デコハチ公)をはじめ、渋谷にまつわる多彩な展示資料の数々は、9/30まで来館者の目を楽しませることになります。(渋谷中央街神輿は9/17まで展示)



Timeline Photos - September 3rd, 2015 at 1:36 PM

地域

32

[REPORT／「世界の宗教を知る」ワークショップ第1回(ユダヤ教)]

8月28日(金)、当博物館で企画しました「世界の宗教を知る」ワークショップ第1回「シャローム！ーユダヤ教の習慣と儀礼を学ぶー」が行われました。夏休み期間の募集にも関わらず、たくさんの方にお申込みいただき満員での開催となりました。
ワークショップでは、現在当博物館で開催中の西南学院大学との相互貸借特集展示「ともし火の系譜ー古代ランプからユダヤの祭具ー」をご覧いただき、陣内学芸員による展示解説とユダヤ教の基礎知識についての講座が開かれました。
その後、ご参加の皆さまと博物館を出て大移動。なんと今回のワークショップのために特別に日本ユダヤ教団様のシナゴーク内ではびによる講座が開かれました。
貴重なお話を聞かせていただいたあとは、実際に金曜夜のお祈りに参加！大変貴重な体験となりました。次回は10月4日(日)第2回「アッサラーム・アレイクム！ー渋谷のモスクでムスリム文化にふれる」(※定員に達しましたので募集を締め切っております)です。

第3回、第4回はこちら
http://www.kokugakuin.ac.jp/oard/h27museum_event_wr_ws.html



Timeline Photos - September 4th, 2015 at 4:16 PM

59

[REPORT／貴重資料レプリカ展示@渋谷ヒカリエ]

昨日より渋谷ヒカリエ8階にて、当館の貴重資料のレプリカ出張展示がスタートしました！今回、出張したのは「挙手人面土器」。
手を挙げているような突起がつき、胴体に顔がつけられた土器は古墳時代のもので他に例がなく、当館だけの貴重資料です。このレプリカ展示を通して、日本文化、歴史、精神性に思いを馳せていただくとともに、本物を展示している國學院大學博物館にぜひ興味を持っていただければと思います。
渋谷ヒカリエでの展示は10月31日まで。8階のエスカレータをあがってすぐの所で、可愛い人面土器がお待ちしております。



Timeline Photos - September 5th, 2015 at 7:58 PM

[REPORT／ミュージアム連携事業
美術文化フォーラム1]

本日、昨年度からの恒例となった國學院大學博物館・山種美術館の連携事業による美術文化フォーラム(平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」)が行われました。今回は、山種美術館で開催中の「【特別展】琳派400年記念 琳派と秋の彩り」にちなみ、「琳派400年記念 琳派―受け継がれる美の系譜」がテーマ。230名の聴講者を迎え3時間弱のプログラムになりました。

冒頭、山崎妙子山種美術館館長が、今回の展覧会のみどころと本事業の趣旨を紹介したあと、日本画家である中島千波氏は、描く側からの視点に基づいたユーモアに溢れた琳派の作品に関する批評をされ、本学文学部教授藤澤紫先生は、琳派作品の歴史的な繋がりや浮世絵との関連等、楽しくも系統だった解説が披露されました。

次回の美術文化フォーラム2は11月14日(土)「村上華岳と京都、そして日本文化へ」で、当館館長笹生衛先生が登場します。



山崎妙子館長(山種美術館)



中島千波氏



藤澤紫先生(國學院大學文学部教授)

Timeline Photos - September 7th, 2015 at 5:50 PM

[REPORT／企画展<SHIBUYA>
ミュージアムトーク]

先週、9月5日(土)に秋野淳一氏(國學院大學研究開発推進機構PD研究員)による展示解説が行われました。展示中の渋谷中央街大人神輿をはじめとする、渋谷の町神輿14基がSHIBUYA I O 9前に集結する祭礼に特化した解説でした。20名超の参加者は、あまり知られていない渋谷の祭りの歴史に、傾きながら興味を示されていました。



渋谷 30

Timeline Photos - September 9th, 2015 at 4:24 PM

[INFORMATION／相互貸借特集展示Ⅳ
(西南学院大学博物館資料)]

本学博物館と協定を結んでいる西南学院大学博物館(福岡県福岡市)が所蔵する資料を展示する、「相互貸借特集展示Ⅳ」を9月5日(土)より行っています。

今回は「宗門人別改帳にみる近世社会」というテーマで、宗門御改影踏帳やシーボルト著『NIPPON』『絵踏』(複製)など、貴重な資料を展示しています。

会場：國學院大學博物館

会期：平成27(2015)年9月5日(土)～12月23日(水)

キリスト教文化を視点とした特色ある西南学院大学博物館の資料を、ぜひこの機会にご覧ください。



[REPORT／企画展<SHIBUYA>ミュージアムトーク]

9月12日(土)は先週に引き続き、企画展<SHIBUYA>のミュージアムトークが行われました。今回は、本企画展を担当した石井学芸員より<SHIBUYA>展の魅力がたっぷりと伝えられました。渋谷の地に眠る考古資料の話から、デコハチ公の紹介に、渋谷と岡本太郎の関係など…椅子に座って講義を聞く形ではなく、実際に展示室を歩き、資料を見ながらの解説に参加者は引き込まれるように聞き入っていました。本企画展の会期はまだ続きます。次回ミュージアムトークは本学教授の上山先生によるトークです。



渋谷

Timeline Photos - September 19th, 2015 at 12:15 PM

[INFORMATION／渋谷中央街神輿渡御]

渋谷中央街大人神輿は、昨日9月18日に当館を発ち、御霊入れの儀を無事終え、本日・明日(19・20日)と渋谷駅界限を渡御します。

今夜の宵宮では、中央街神酒所(渋谷マークシティ・京王井の頭線渋谷駅西口)を18:00発御・19:20還御の予定で、中央街界限を渡御します。

明日の本渡御では、中央街神酒所を12:00発御、14:00にSHIBUYA I O 9前に渋谷の各町会の神輿が集結し、連合渡御式典が行われます。その後、道玄坂を渡御し、スクランブル交差点を経て、18:00に神酒所に還御の予定です。この機会に、ぜひ渋谷の中心地で行われる祭りをお楽しみください。



渋谷 36

[INFORMATION／企画展<SHIBUYA>「結章」展示替え]

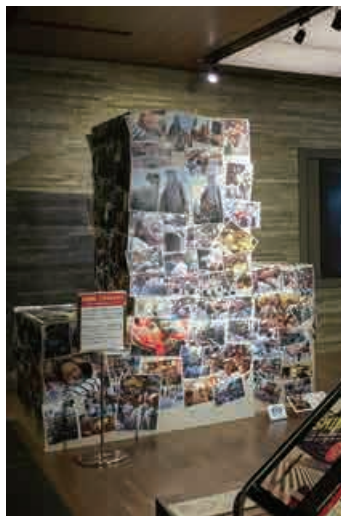
本企画展で展示しておりました渋谷中央街大人神輿は、金王八幡宮例祭渡御のため、9月18日に当館を発ち、19・20日と渋谷の中心地区を渡御し、神輿蔵へ還りました。

9月21日より、神輿が鎮座していた企画展「結章」スペースは、渋谷の中心で繰り広げられる祭りの熱気を、写真により再構成する展示に替わっています。

展示替えにあたり、写真家・井賀孝氏にご協力いただき、井賀氏が密着撮影を敢行された画像をご提供いただきました。

神輿を担ぐ渋谷の人々の爽快感表情に、祭りの熱気を感じていただければ幸いです。

会期は9月30日(水)まで。



[REPORT／企画展<SHIBUYA>ミュージアムトーク]

昨日、9月26日(土)に本学文学部教授の上山和雄先生による展示解説が開催されました。「オリンピック前後の渋谷」というテーマで行われた解説には多くの方が集まりました。

<SHIBUYA>展の会期はあとわずかです。

ぜひ足をお運びください。



October 2015

- 特別展 「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」
- 地域 「世界の宗教を知る」ワークショップ第2回(イスラム教)
- 常設展 展示替え(校史)
- 女房装束の展示
- 特別展ミュージアムトーク
- 体験 「国際浮世絵学会」浮世絵の展示
- 地域 「世界の宗教を知る」ワークショップ第3回(修験道)

…e.t.c.

664 likes

19 photos shared



October 2015

Timeline Photos

October 2nd, 2015 at 8:39 PM

76



[REPORT / 展示作業 ：江戸のベストセラー『唐詩選』の世界]

明日から始まる特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」(会期：10/3～11/15、11/4のみ休館)の展示作業が行われました。

企画者である赤井益久学長も博物館教職員総出による展示作業に加わり、一研究者としての目で最終的な資料とキャプションのチェックに余念がありませんでした。

「国学」の誕生の契機となった江戸時代のベストセラー「漢学」の世界を、多数の和刻本、版本や非常に珍しい版本など多彩な資料で余すところなく取り上げました。

会期中は学長自らのミュージアムトークも行われます。ぜひ、ご来館ください。

Timeline Photos

October 4th, 2015 at 11:02 AM

40



[INFORMATION / 特別展スタート]

昨日より、特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」が始まりました。会期は平成27年10月3日(土)～11月15日(日)。

江戸時代、爆発的に流行した唐詩選の世界をぜひご覧ください。

Timeline Photos - October 5th, 2015 at 3:19 PM

地域 47

[REPORT / 「世界の宗教を知る」ワークショップ第2回(イスラム教)]

当博物館主催 第2回「世界の宗教を知る」ワークショップ「アッサラム・アレイクム！ー渋谷のモスクでムスリム文化にふれるー」を開催いたしました。

当日は、現在当館で開催中の特集展示「近代日本におけるイスラム教ー東京回教礼拝堂と回教学校ー」を本学准教授深澤太郎先生の解説と共にご覧頂きました。

その後、20分ほどバスに揺られて、東京ジャーミイ・トルコ文化センターへ。東京ジャーミイの下山茂氏に解説していただきながら、大理石でできたモスクや隣接する東京回教学校を見学。半円ドームが美しいモスクは、水やコンクリート、鉄筋以外はすべてトルコから日本に運ばれた素材で建築されたそうです。

モスクは人のためだけに設計されたものではなく、鳥の巣箱や動物が飲んでもよい水飲み場などが造られている、というお話が印象的でした。

ゆっくりと解説をいただいたあとは、モスクの中で午後の礼拝を見学させていただきました。

高い天井にイマームの声が朗々と響き、一瞬ここが日本であることを忘れてしまいそうなほど。言葉はわからなくとも不思議と心に染み入るような、貴重な体験となりました。

次回の世界の宗教を知るワークショップは10月18日に第3回「お山は晴天、六根清浄！ー相模大山修験道の道を歩くー」を開催いたします(※定員に達しましたので募集を締め切っております)。



Timeline Photos - October 6th, 2015 at 6:44 PM

49

[REPORT / 常設展 校史展示室の展示替え]

当館の常設展(校史・考古・神道)のひとつである、校史展示室の展示替えを10月初旬に行いました。

今回は有栖川宮(ariusがわのみや)家が伝えてきた書の流派、有栖川流にスポットを当て、有栖川宮家歴代の書軸を並べ、展示しています。

國學院大學では江戸中期から明治に至るまでの有栖川宮家歴代の書を揃えており、他ではなかなか見ることのできない貴重な展示となっております。

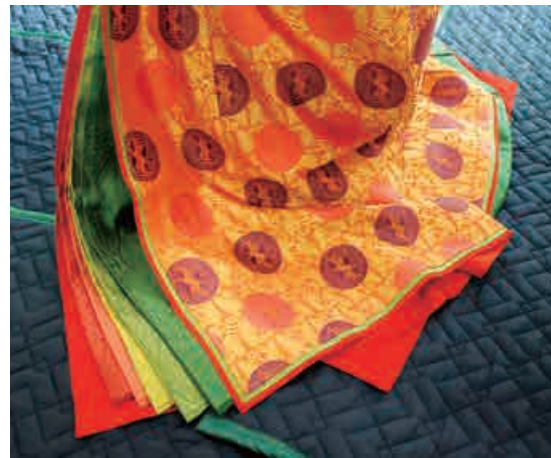
ぜひ、この機会にご覧ください。



Timeline Photos

October 7th, 2015 at 5:03 PM

258



[REPORT／近日展示予定「女房装束」]

秋ですね。博物館でも現在展示している有職故実コーナーの衣替えを行います。

本日は、展示予定の「女房装束」の着装確認を行いました。色彩豊かな装束を皆さまにお見せできる日が楽しみです。

展示公開は今週の土曜日を予定しています。

Timeline Photos

October 9th, 2015 at 6:16 PM

76



[INFORMATION／「女房装束」展示開始]

先日、ご案内させていただいた「女房装束」。本日展示替えを行い、早速明日より公開となります。あの紫式部も憧れたという、宮中女性の装束。あまりの艶やかさに女子の私は思わずうっとりです。

ぜひ一度ご覧ください。

館内の神道展示コーナーでお待ちしております。

Timeline Photos - October 11th, 2015 at 3:40 PM

43



[REPORT／特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」ミュージアムトーク]

昨日、特別展の企画担当教員である、赤井益久学長による展示解説が行われました。

「国学」という学問の流儀を名に冠した國學院大學博物館において、当企画展を行う意義や、漢籍を独自に出版した「和刻本」が江戸時代における学問の幅広い普及を促したことについてなど、当時爆発的に流行した『唐詩選』を中心とする展示資料をひとつひとつ巡りながら、丁寧にご解説いただきました。

企画展示室をうめつくす120人超の参加者は、特別展図録を片手に、江戸時代の庶民にまで読み込まれた実物資料に見入っていました。

来週土曜日、10月17日にも赤井益久学長による展示解説を2回行います。12：30～13：00と14：30～15：00です。

ぜひ、足をお運びください。

図録は、アンケートにご協力いただいた方々に無料頒布中です。

Timeline Photos - October 14th, 2015 at 9:32 PM

地域42

[REPORT／「世界の宗教を知る」ワークショップ第3回の事前調査活動]

ミュージアム連携事業「世界の宗教を知る」ワークショップの第3弾になる「お山は晴天、六根清浄！ー相模大山修験道の道を歩くー」(10月18日)敢行に向け、当館教職員及び研究者が現地の事前最終調査を実施しました。予定登拝ルートを実際に歩き、時間を測定しながら足元や注意ポイントを確認し、より安全なルートの策定に資する貴重な調査結果が得られました。

予想外の収穫は、宿泊した”山荘だいとう”のご主人から貴重な話を聞いたことで、宿内には講の参加者が登拝前に拝礼できる社や、講にまつわる珍しい品々があり、大山講の歴史の片りんを知ることができました。



Timeline Photos - October 15th, 2015 at 7:05 PM

43

[INFORMATION／テレビ放送]

本日、東急沿線のケーブルテレビ イッツコムから、現在当館で開催中の特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」について、取材を受けました！

赤井益久学長がインタビューに答え、本特別展の魅力を語りました。

本日の撮影の様子はイッツコムチャンネル(地デジ10ch)で10月22日(木)～25日(日)に放送予定です。

放送スケジュールは下記の通り。

「地モトTV おかえり!(TOKYO)」イッツコムチャンネル(地デジ10ch)

10月22日(木)7：00～7：20、19：00～19：20、22：00～22：20

10月23日(金)7：00～、19：00～、22：00～

10月24日(土)9：30～

10月25日(日)15：30～

イッツコムを見られる方はぜひご覧ください！

特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」webページhttp://www.kokugakuin.ac.jp/oard/museum_h27_toushisen.html

イッツコムチャンネル「地モトTV おかえり！」webページ<http://blog.itscom.net/okaeri/>



Timeline Photos - October 17th, 2015 at 8:01 PM



[REPORT／「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」ミュージアムトーク]

本日、大学は、院友(卒業生)の皆様を対象としたホームカミングデーと、保護者の皆様を対象とした若木育成会キャンパス見学会の二大イベントが開催されました。

学内では、さまざまなイベントが開催され、國學院大學のマスコットキャラクター「こくびょん」も登場！

博物館では、赤井益久学長による企画展の展示解説が2回行われ、学長の解説を羅針盤に、合わせて300人超の人々が、江戸時代の庶民にまで親しまれた書物の海をじっくりと堪能されていました。

当企画展は、来月、11月15日(日)までの開催です。お見逃しなく。

Timeline Photos - October 19th, 2015 at 8:51 PM

[REPORT／「世界の宗教を知る」ワークショップ第3回(修験道)]

10月18日(日)に國學院大學博物館主催の世界の宗教を知るワークショップ第3回「お山は晴天、六根清浄！ー相模大山修験道の道を歩くー」を開催しました。第3回目は、修験道の信仰を学ぶワークショップとして、大山登拝を日帰りで体験しました。

本学の神殿前でお祓いと登拝の安全祈願を行い、バスに乗車。青山通りから道玄坂方面へ抜けていく大山街道を西に向かい、大山へ。

参加者は配られた白はちまきを締め、「懺悔懺悔六根清浄」の掛け念仏を唱えながら、女坂ルートを通り、「大山寺」、「大山阿夫利神社」の下社を目指しました。大山阿夫利神社では目黒権禰宜よりお話しを伺いました。大山の由緒や大山信仰・大山講などについて、わかりやすくご解説いただき、また、2メートル程もある納太刀の見本を実際に手にとって拝見させていただきました。

その後、御社殿にて正式参拝を行いました。神職さんの祝詞



奏上後、玉串拝礼を行う際には、感慨もひとしおでした。

下山後は、下社の参集殿で昼食をとり、その後大山ケーブルカーで下山し、麓にある「大藤教会(山荘だいとう)」を訪問。

大山講の先導師でもある大藤教会にも参拝させて頂くとともに、講社に関する資料などを拝観しました。

1日がかりのワークショップとなりましたが、心地よい疲労感とともに普段はなかなか出来ない体験に達成感のある1日となりました。

Timeline Photos - October 21st, 2015 at 7:36 PM

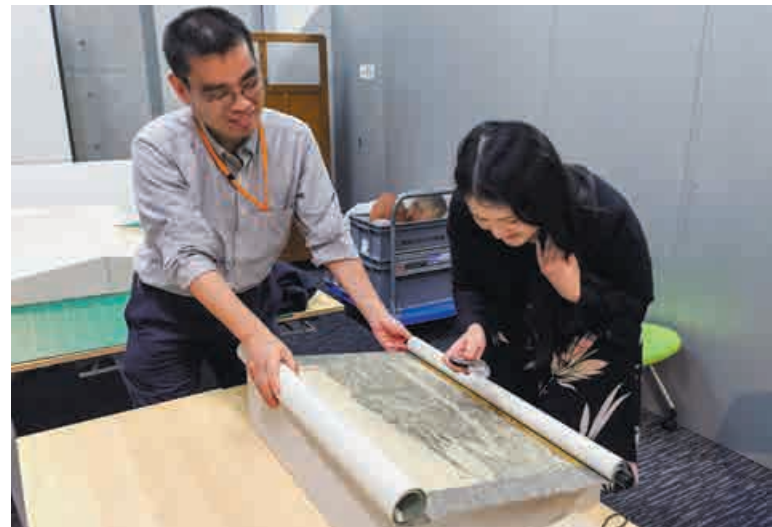
[REPORT／国際浮世絵学会の展示準備]

現在、博物館では特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」を開催しております。

江戸時代に流行した唐の書物を紹介していますが、江戸の庶民文化にちなみ来週より浮世絵の展示も行います。

11月7日(土)8日(日)には、本学で「国際浮世絵学会」も開催されます。博物館では、学会にあわせて錦絵や合羽摺の資料を4点ほど特別に展示予定です。

本日は、来週からの展示にむけての準備が行われ、学会常任理事でもあります本学教授の藤澤紫先生が直接資料をチェックされました。展示期間は10月27(火)～11月15日(日)。ぜひ足をお運びください。



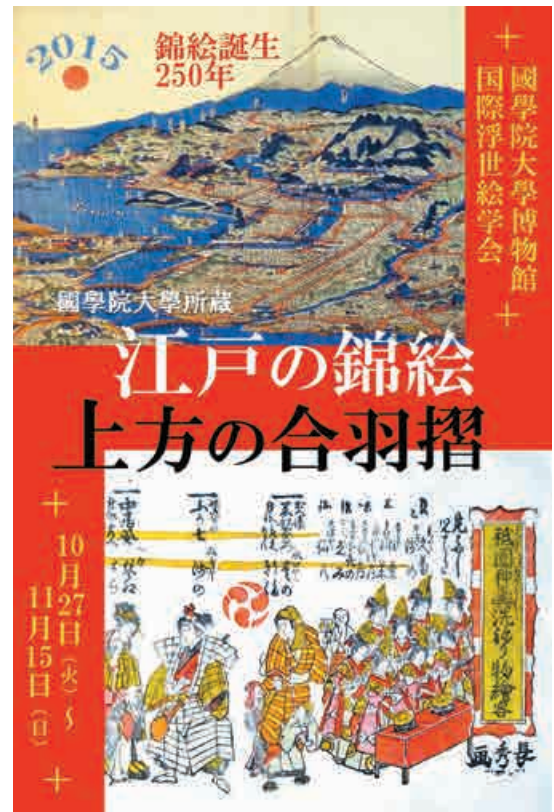
Timeline Photos - October 27th, 2015 at 12:49 PM

[INFORMATION／錦絵・合羽摺の展示]

先日、告知しました特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」にちなんだ錦絵の特集展示。

本日から、企画展示室前のホール一角にて、本学教授藤澤紫先生の解説パネルとともに、覗きケース2台で開催中です。

11月7日(土)8日(日)には、本学で「国際浮世絵学会」も開催されます。会期終了は、特別展終了と同じ11月15日(日)です。この機会に、ぜひ足をお運びください。



November

2015

-  「世界の宗教を知る」ワークショップ第4回(道教)
- 古代出雲歴史博物館 笹生館長講演
-  美術文化フォーラム2
-  多言語化の取り組み
-  渋谷学ワークショップ
- 企画展「神仏・異類・人―奈良絵本・絵巻にみる怪異―」
- 企画展ミュージアムトーク

…e.t.c.

432 likes 

18 photos shared



November 2015

Timeline Photos - November 1st, 2015 at 6:46 PM

地域 56

[REPORT / 「世界の宗教を知る」ワークショップ第4回(道教)]



10月25日(日)に国学院大学博物館主催の「世界の宗教を知る」ワークショップ第4回「急急如律令！ー横浜の道教寺院をめぐるー」を開催しました。今回は、道教の信仰を学ぶワークショップとして、横浜関帝廟・横浜媽祖廟を実際に参拝し、中国の神々や信仰への理解を深め、道教の世界を体験しました。

当館で開催中の特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」をご観覧いただき、バスで横浜中華街へ！

到着後、朝陽門をくぐり、中華街大通りを通して、まずは三国志で有名な関羽将軍、「関聖帝君」が祀られている横浜関帝廟へ。関帝廟のガイドである加藤さんにご解説いただきながら廟内を巡りました。

横浜関帝廟を後にし、次は南門シルクロード沿いにある横浜媽祖廟へ。こちらの廟でも横浜媽祖廟の事務局長である大山さんにお話を伺い、媽祖廟に祀られる神様の話や媽祖廟にまつわるお話を聞きました。

全4回にわたった「世界の宗教を知る」ワークショップは、今回の道教編をもって、すべて終了しました。各回とも予想を上回る大勢の方にご参加いただき、大成功のワークショップとなりました。本当にありがとうございます。

Timeline Photos - November 2nd, 2015 at 2:52 PM

39



[REPORT / 古代出雲歴史博物館企画展・笹生館長講演]

現在、島根県立古代出雲歴史博物館で開催中の企画展「百八十神坐す出雲ー古代社会を支えた神祭りー」は、当館の笹生館長が3年間にわたり客員研究員として企画から関わった事業。館長はあらためて企画展を視察の上、「祭祀遺跡から古代の出雲、杵築大社成立を考えるー神と社の考古学ー」と題し、講義室につめかけた100名近い聴講者に1時間半にわたる熱弁を揮われました。

講演では、古代の祭祀・神社・神道の起源を考える上で欠くことのできない「出雲」について、多くの考古学的知見、国内の同時代起源の社と共通する水系の役割、さらに朝鮮半島に近い地理的条件を踏まえて、祭祀の形成から大和朝廷への影響まで語られ、学術的な見地から企画展の見どころも知ることができるものとなりました。



Timeline Photos
October 15th, 2015 at 7:05 PM

38

[INFORMATION / 特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」会期終了間近]

10月3日(土)から開催していた特別展「江戸のベストセラー『唐詩選』の世界」も、残すところあと2日間となりました。

まだご覧になられていない方は、この週末にぜひお越しください。最終日の閉館は、18:00(最終入館は17:30)です。お見逃しなく！

皆様のご来館をお待ちしております。

Timeline Photos - November 17th, 2015 at 1:00 PM

体験 71

[REPORT／ミュージアム連携事業 美術文化フォーラム2]

11月14日(土)、学術メディアセンターの常磐松ホールで、國學院大學x山種美術館主催による美術文化フォーラム2「村上華岳と京都、そして日本文化へ」が開催されました。

平成27年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」の活動の一環で実施されたもので、山種美術館で行われている「特別展《裸婦図》重要文化財指定記念 村上華岳—京都画壇の画家たち—」を通して日本文化に触れる講演とコンサートで構成されたイベントとなりました。

山崎妙子山種美術館館長による展覧会の見どころにつづき、2013年に文化功労者にも選出されている日本画家の上村淳之氏から祖母・上村松園、父・上村松篁のお話や、自身の描く花鳥画に対する考えなどが披露されました。

講演の最後は、当館館長の笹生衛先生が「日本文化の源泉と信仰—神仏信仰の変容と日本の精神性の形成—」と題し、やまと絵や日本画からよみとる神仏信仰の変遷や関係について講演がなされました。

第2部では、新進気鋭のクラリネット奏者吉田誠氏によるコンサートが催され、村上華岳の作品から、吉田氏がイメージされたクラシックの楽曲から6曲が演奏されました。



上村淳之氏



山崎妙子館長(山種美術館)



笹生衛館長(國學院大學博物館)



吉田誠氏

Timeline Photos - November 17th, 2015 at 7:17 PM

言語 71



[REPORT／多言語化の取組み]

当館では、文化庁支援事業の一環として、印刷物やサインパネル等の多言語化に取り組んでいます。本日は、当館正面ガラスに英語を併記した基本情報のウインドウグラフィックスを設置しました。外国人の方が一見して当館の基本情報を理解し足を踏み入れてもらうことを期待するものですが、これまでの入口がわかりにくい、入りにくいといった点も解消できれば良いと思います。挙手人面土器、勾玉、國學院大學章をあしらったデザインです。なお、20日には英語併記の企画展バナーが設置されますので、またレポートいたします！

Timeline Photos - November 17th, 2015 at 7:17 PM

66



[REPORT／企画展「神仏・異類・人」展示作業]

11月21日(土)から始まる企画展「神仏・異類・人—奈良絵本・絵巻にみる怪異—」の展示作業が、本学文学部教授の針本正行先生も加わり本で行われました。

今回の企画展は『竹取物語』『さくらの姫君』など、國學院大學図書館が所蔵する奈良絵本・絵巻を展示いたします。『さくらの姫君』(※前期展示のみ)は、草木の精たちが桜の姫君に恋をする物語で、なかなか観ることができない貴重な作品です。

企画展の初日には、針本先生のミュージアムトークが行われます。ぜひ、ご来館ください。

日時：平成27年11月21日(土) 14時～14時30分

※お申し込み不要、参加費無料です。当日、國學院大學博物館、館内ホールまでお越しください。

[REPORT／渋谷学ワークショップ「渋谷の記憶を辿る～常磐松界限を歩く～」渋谷

本日、渋谷学研究会ワークショップ「渋谷の記憶を辿る～常磐松界限を歩く～」が催されました。

ハチ公像の前で集合した30名の参加者は、最初にそのハチ公像の解説を受け、出発。その後、尾崎豊歌碑、金王八幡宮、渋谷氷川神社土俵と境内、常盤松の碑、そして白根記念渋谷区郷土博物館・文学館を巡りました。

各場所で本学文学部准教授の飯倉義之先生や、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館の服部比呂美学芸員の説明を受け、さらに渋谷の見識を深める内容となりました。新たな渋谷を知り、明日から渋谷の街の見え方も少し変わるかもしれません。





[REPORT／企画展「神仏・異類・人」開催]

明日11月21日(土)から「神仏・異類・人 一奈良絵本・絵巻にみる怪異一」が始まります。

本日は、エントランス上部ガラス面に企画展案内パネルを設置しました。明日の14:00からは國學院大學文学部教授の針本正行先生によるミュージアムトークが行われます。

企画展の展示品の中から、『竹取物語絵巻』『隠れ里』『さくらの姫君』を中心にご解説いただきます。

皆様のご来館をお待ちしております！



[REPORT／企画展「神仏・異類・人」ミュージアムトーク]

本日、14時より本学文学部教授針本正行先生によるミュージアムトークが開催されました。

当企画展の前期では、奈良絵本・絵巻が計20点展示されています。そのうち、ミュージアムトークでは『竹取物語絵巻』や、世界で本学図書館のみが完本を所蔵するという『さくらの姫君』と『隠れ里』に焦点を絞り、専門家の視点による、展示品のさまざまな見どころが紹介されました。

トーク終了後、50名近くの参加者はじっくりと奈良絵本・絵巻を堪能している様子でした。

前期の展示は、12月6日の場面換えを経て、12月23日(水)まで。冬期休館期間の展示替えを経て、後期の展示は平成28年1月8日(金)～2月7日(日)までとなります。後期は、1月26日に場面換えを行う予定です。

この機会に、ぜひ、貴重な奈良絵本・絵巻の世界に触れてみてください！



December 2015

- 常設展示の縄文土偶
- 企画展 場面替え
- 言語 新ホームページ公開
- 相互貸借展示ミュージアムトーク
- 重要文化財「石枕」の展示
- 国際 国際シンポジウム・ワークショップ①～③
- 言語 新リーフレットとブックレットの完成
- 言語 館内外サインの多言語化
- 企画展ミュージアムトーク
- 貴重資料レプリカ展示(天童市)

…e.t.c.

784 likes

18 photos shared



December 2015

Timeline Photos
December 1st, 2015 at 2:01 PM

[INFORMATION／常設展示の縄文土偶]

今、ちまたで話題沸騰の『にっぽん全国土偶手帖』(世界文化社刊)。著者の譽田亜紀子さんは、全国各地からひっぱりだこの土偶女子！

本書では、当館に展示している縄文土偶や、古墳時代の挙手人面土器も紹介してくださっています。個性的な表情をもつ当館の土偶たちと、ぜひ、対話してみてください。



Timeline Photos - December 5th, 2015 at 8:40 PM



[INFORMATION／企画展「神仏・異類・人」場面替え]

本日、一部の作品を除いて、場面替えを行いました。
明日からは新しい場面をご覧ください。
『依藤太物語』の龍宮の場面は本企画展の見どころのひとつです。
ぜひご来館ください！

Timeline Photos
December 3rd, 2015 at 3:50 PM

[INFORMATION／企画展「神仏・異類・人」場面替え]

12月5日(土)閉館後に、企画展「神仏・異類・人」展示品の場面替えを行います。

『付喪神記』のしゃもじ妖怪や、『百鬼夜行絵巻』の猫と犬の化け物など、場面替えによって隠れてしまうキャラクターもいます。

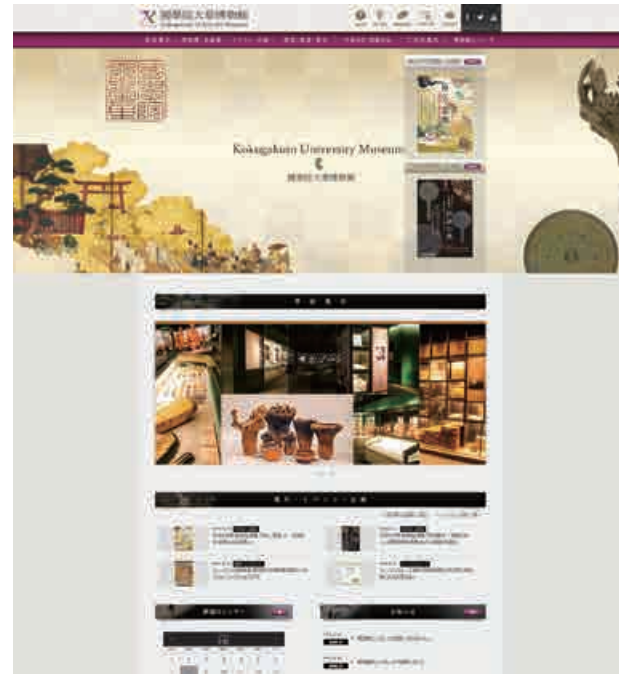
最後にぜひ会いにきてくださいね。

6日(日)からは別の場面を公開します。進む物語、登場する新しいキャラクターたち。

真冬の怪異をどうぞお楽しみに！



Timeline Photos - December 10th, 2015 at 7:57 PM



[INFORMATION／新ホームページ公開]

本日、正午よりリニューアルされた当館ホームページが公開されました。

リニューアル事業は、平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」の多言語化による国際発信の取り組みの一環で実施されたものです。

日本語のほか、英語、中国語、韓国語、仏語のページを用意しており(コンテンツ調整中ページあり)、多くの外国人にも当館を通して日本の文化や歴史に触れていただきたいと考えております。

スマホのような小さなブラウザからのアクセスに対応するレスポンスデザインの採用、スケジュールやイベント情報の閲覧性の向上など、より使いやすい設計になっています。

<http://museum.kokugakuin.ac.jp/>

Timeline Photos - December 11th, 2015 at 9:43 PM

[INFORMATION／西南学院大学博物館相互貸借特集展示 ミュージアムトーク]

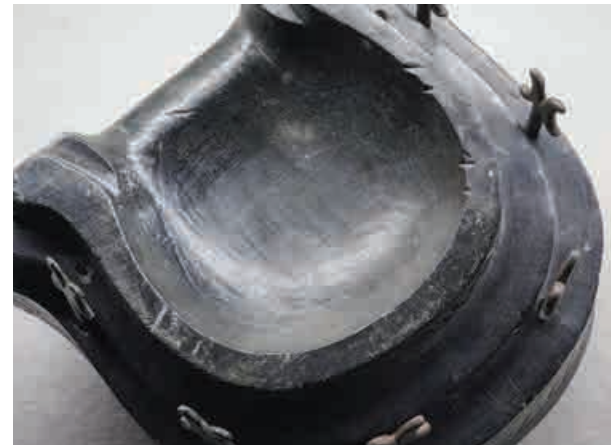
当館で展示中の 相互貸借特集展示Ⅳ「宗門人別改帳にみる近世社会」のミュージアムトークが、明日12月12日(土)の午前と午後の2回にわたって開催されます。

今回の展示では西南学院大学博物館が所蔵する五つの地域の宗門改帳を取り上げており、ミュージアムトークでは西南学院大学博物館学芸研究員の野藤妙氏と、本学研究開発推進機構の共同研究員でもある、熊本大学文学部准教授の安高啓明氏をお招きし、展示テーマに沿ってご講演いただきます。

(1)「シーボルトが見た禁教政策」
日時：12月12日(土)11:00～11:30
解説：野藤妙(西南学院大学博物館学芸研究員)

(2)「絵踏と宗門改」
日時：12月12日(土)15:00～15:30
解説：安高啓明(熊本大学文学部准教授、
本学研究開発推進機構共同研究員)

Timeline Photos - December 12th, 2015 at 2:21 PM



[INFORMATION／重要文化財「石枕」を展示中！]

12月12日(土)、13日(日)の2日間にわたって行われる、國學院大學博物館国際シンポジウム・ワークショップ2015の開催にあわせ、重要文化財の「石枕」を1週間展示します。

この「石枕」は、千葉県市原市の姉崎二子塚古墳から出土した資料です。被葬者の頭部を支えるために造られた滑石製石枕で、「常総型」石枕と呼ばれています。

普段はなかなか公開されない重要文化財。ぜひこの機会に実物をご覧ください。

展示期間：12月11日(金)～12月17日(木)
展示会場：國學院大學博物館 考古展示室

[REPORT / ミュージアム連携事業]

國學院大學博物館 国際シンポジウム・ワークショップ2015 「博物館の国際的ネットワーク形成と日本文化研究」①

12月12日に行われた国際シンポジウムのプレイベントとして、11日(金)には招聘者の皆様に連携館を含めた国内の博物館、美術館を観覧いただくため、フィールドトリップを実施しました。

午前は、永青文庫、午後は当館、山種美術館、東洋文庫というルート。細川家に伝来する歴史資料や美術品等を収蔵展示する永青文庫では、大きな話題になっている春画展を観覧。連日長蛇の列をなしているところ、あいにくの雨が来館者の足を鈍らせたためか、ゆっくりと貴重な浮世絵を鑑賞することができたようでした。実行委員会の浦上満氏にも多大なるご配慮をいただきました。

午後は、当館へ移動。企画展「神仏・異類・人―奈良絵本・絵巻にみる怪異―」や常設展の校史・神道・考古展示室を観覧。普段は複製を展示している重要文化財の「石枕」もシンポジウムに合わせ実物を展示しており、精巧な細工と輝きを持つ古墳時代の貴重な資料に目を奪われていました。

日本初の日本画専門美術館でもある山種美術館では、記念写真を撮影後、山崎館長の解説に高橋学芸部長の同時通訳を加え、現在開催中「特別展《裸婦図》重要文化財指定記念村上華岳―京都画壇の画家たち―」を中心に、海外で普段見ることができない日本画の魅力を堪能しました。



永青文庫

世界屈指の東洋学の専門図書館である東洋文庫では、岡崎学芸員の解説により、常設展示の見どころとなる資料やモリソン書庫、現在開催中の企画展「幕末展」などを観覧。アジア、西欧から見た日本像が語られた多様な資料は海外からの招聘者の興味を惹いていました。

最後は東洋文庫のオリエントカフェで、あらためて挨拶を交わしながら、フィールドトリップと翌日からのシンポジウムの話に花が咲きました。



山種美術館



東洋文庫

[REPORT / ミュージアム連携事業]

國學院大學博物館 国際シンポジウム・ワークショップ2015 「博物館の国際的ネットワーク形成と日本文化研究」②



平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」による、国際シンポジウム・ワークショップ2015「博物館の国際的ネットワーク形成と日本文化研究」が開催されました。

初日は、井上順孝本学研究所開発推進機構長による趣旨説明の後、萬谷宏之氏(文化庁文化財部美術学芸課長)がご挨拶下さり、各セッションに移りました。

アメリカ・ボストン美術館のアン・ニシムラ・モース氏から、国際的なネットワークに日本の美術館・博物館が参画していく上での具体的な課題と要望が提示され、イギリス・セインズベリー日本藝術研究所のサイモン・ケイナー氏からは、氏が関わった展示の報告や、最新の日英間オンラインリソースの取り組みについての紹介と提案がなされました。

オランダ・ライデン国立民族学博物館のマティ・フォーラー氏、フランス・ギメ美術館のミシェル・モキユール氏、ロシア・ピョートル大帝記念人類学・民族学博物館(クストカメラ)のアレクサンダー・シニーツィン氏からは、日本コレクション形成の歴史的背景や各館の近年の取り組み等の紹介がなされました。

5氏のパネル発表後、井上洋一氏(東京国立博物館)による各発表に対するコメントを受け、司会の中牧弘允氏(吹田市立博物館、国立民族学博物館)を交え、フロアからの質問や意見を取り入れながら活発な討議が行われ、1日目のシンポジウムは幕を閉じました。



Timeline Photos - December 16th, 2015 at 11:34 AM

国際 31

[REPORT／ミュージアム連携事業 國學院大學博物館 国際シンポジウム・ワークショップ2015 「博物館の国際的ネットワーク形成と日本文化研究」③]



笹生衛当館館長の司会による2日目のワークショップ。オーストリア応用美術博物館のヨハネス・ヴィーニンガー氏による「博物館の未来はデジタル化だけではない」では、デジタル情報の重要性を強調する一方で、「現物」の重要性を強調する提言がありました。フランス・日仏会館のクリストフ・マルケ氏による「フランスの図書館や美術館の和古書コレクションと日本文化研究」では、これからの海外における和古書の日本文化研究への活用の可能性について提言がありました。

東京大学のイローナ・パウシュ氏、西南学院大学博物館の宮崎克則・阿部大地両氏、当館の内川隆志からは、海外に所在する日本コレクション形成に関わった日本側の具体的な動向について報告がなされました。

永青文庫の三宅秀和氏からは、春画展などの事例から、国際ネットワークの現状と種々の課題が提示され、東洋文庫の岡崎礼奈氏、山種美術館の山崎妙子氏からは、国際的な情報発信の可能性と課題について提言が出されました。

総合討議では、ワークショップ各登壇者から提示された課題を元に、初日のパネリストやフロア参加者も交え、具体的な国際ネットワークの形成方法や、日本文化を海外発信していく上での課題に対する活発な議論が行われ、3日間のイベントは幕を閉じました。

Timeline Photos
December 17th, 2015 at 3:36 PM

言語 67



[INFORMATION／博物館の 新リーフレット・ブックレットが完成]

この度、博物館の紹介リーフレットが新しくなりました！多言語化が行われ、日・英・仏と日・中・韓の2タイプがあります。

さらに、当館の魅力を紹介するブックレットも完成しました！こちらは日本語版と英語版をご用意しています。

アンケートにお答え頂いた皆様にお礼としてブックレットを差し上げています。館内にブックレットの見本もご用意していますので、ご来館の際にはぜひ手にとってみてくださいね！

[INFORMATION／ 館内外サインの多言語化]

海外の方の来館者のために、博物館の館内外の多言語化やサイン化が進められています。

英語はもちろん中国語や韓国語にも対応しました。

また館内の解説シートも日・英・中・韓が揃っています！今後よりたくさんの方にお越しいただき、博物館を楽しんでもらえるよう、引き続きがんばっていききたいと思います。



Timeline Photos
December 18th, 2015 at 10:47 AM

1 81

[INFORMATION／企画展 「神仏・異類・人」ミュージアムトーク]

12月19日(土)12時30分から、本学文学部兼任講師の荒木優也先生によるミュージアムトークを開催します。

展示中の絵巻物についてじっくり解説いたします！ご予約は不要ですので、ぜひお立ち寄りくださいませ。



Timeline Photos - December 22nd, 2015 at 10:09 PM

41

[INFOMATION／博物館の年内開館最終日のお知らせ]

当館の年内の開館日は明日23日(水)までとなります。企画展「神仏・異類・人」の前期展示が見られるのは明日までとなりますので、どうぞお見逃しなく！

年始は1月8日(金)からの開館となり、同日から後期展示が始まります。

写真は明日までの展示となる『田村の草子』です。



Timeline Photos - December 23rd, 2015 at 1:19 PM

34

[REPORT／レプリカ展示：天童市西沼田遺跡公園]



貴重資料レプリカ展示第3弾は、山形県天童市にある天童市西沼田遺跡公園。銅鐸と挙手人面土器のレプリカが2月16日までエントランスホールで展示されます。

天童市西沼田遺跡公園は、昭和60年の県営園地整備事業に伴う発掘調査により、6世紀を中心とする古墳時代後期の農村集落遺跡であることが確認され、昭和62年に国史跡として指定を受けており、同施設では、遺跡公園の復元住居や学習室で体験型ワークショップが活発に行われています。復元住居の内部環境維持のため毎日ボランティアの方が行っている炭火燻や、古墳時代の復元された機織り機の実演を見学させていただきました。山形県近辺の方は、ぜひ同遺跡公園と当館のレプリカ展示の見学にお越しください。

事業名 は、ミュージアム連携事業実施項目

イベント * 國學院大學博物館で行ったワークショップ・講座・フォーラムなどの企画です

地域 夏休み特別ワークショップ「縄文土器づくり」

日 付	平成27年7月25日(土)、26日(日)
会 場	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館、國學院大學博物館他
講 師	粕谷崇(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 岡田謙一(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館文化財担当学芸員) 内川隆志(國學院大學教授)
主 催	國學院大學博物館 白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
参加人数	29名

地域 夏休み特別ワークショップ「探検！ミュージアム」

日 付	平成27年8月2日(日)
会 場	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館、國學院大學博物館
講 師	粕谷崇(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 服部比呂美(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 内川隆志(國學院大學教授)、高野裕基(國學院大學助教(特別専任)) 陣内理良(國學院大學博物館学芸員)、石井匠(國學院大學博物館学芸員)
主 催	國學院大學博物館 白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
参加人数	19名

体験 体感！浮世絵摺り実演・体験会

日 付	平成27年8月7日(金)
会 場	國學院大學多目的ホール
講 師	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
主 催	國學院大學博物館
共 催	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
協 力	太田記念美術館、山種美術館
参加人数	69名

体験 夕涼み浮世絵講座

日 付	平成27年8月7日(金)
会 場	國學院大學常磐松ホール
講 師	講演①：日野原健司(太田記念美術館主席学芸員) 「ブームとしての妖怪、アートとしての妖怪」 講演②：藤澤紫(國學院大學教授(特別専任)) 「こんなに面白い江戸の幽霊画」
主 催	國學院大學博物館
共 催	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
協 力	太田記念美術館、山種美術館
参加人数	110名

地域 夏休み特別ワークショップ「勾玉づくり」

日 付	平成27年8月8日(土)、9日(日)
会 場	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館、國學院大學博物館
講 師	松井圭太(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 粕谷崇(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 内川隆志(國學院大學教授)
主 催	國學院大學博物館 白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
参加人数	113名

地域 「世界の宗教を知る」ワークショップ
第1回 ユダヤ教「シャローム！ーユダヤ教の習慣と儀礼を学ぼうー」

日 付	平成27年8月28日(金)
会 場	國學院大學博物館、日本ユダヤ協会
講 師	David Kunin(日本ユダヤ教団ラビ) 陣内理良(國學院大學博物館学芸員)
主 催	國學院大學博物館
協 力	日本ユダヤ協会、西南学院大学博物館
参加人数	24名

体験 美術文化フォーラム1「琳派400年記念 琳派ー受け継がれる美の系譜」

日 付	平成27年9月5日(土)
会 場	國學院大學常磐松ホール
講 師	講演①：山崎妙子(山種美術館館長) 「琳派400年記念 琳派と秋の彩り」 講演②：中島千波(日本画家・東京藝術大学名誉教授) 「琳派ー日本人の原点 ー宗達・光琳に繋がる近・現代の日本画ー」 講演③：藤澤紫(國學院大學教授(特別専任)) 「琳派とやまと絵 ー雅と粋のデザイン文化ー」
主 催	國學院大學博物館、山種美術館
参加人数	230名

地域 「世界の宗教を知る」ワークショップ
第2回 イスラム教「アッサラーム・アレイクム！ー渋谷のモスクでムスリム文化にふれるー」

日 付	平成27年10月4日(日)
会 場	國學院大學博物館、東京ジャーミイ・トルコ文化センター
講 師	アラス・ムハンメッド・ラーシット(東京ジャーミイ代表イマーム) 下山茂(東京ジャーミイ)
主 催	國學院大學博物館
協 力	東京ジャーミイ・トルコ文化センター
参加人数	26名

地域

「世界の宗教を知る」ワークショップ
第3回 修験道「お山は晴天、六根清浄！ー相模大山修験道の道を歩くー」

日 付	平成27年10月18日(日)
会 場	國學院大學、大山阿夫利神社、山荘だいとう
講 師	深澤太郎(國學院大學准教授) 網谷哲成(國學院大學博物館学芸員)
主 催	國學院大學博物館
協 力	大山阿夫利神社
参加人数	25名

地域

「世界の宗教を知る」ワークショップ
第4回 道教「急急如律令！ー横浜の道教寺院をめぐるー」

日 付	平成27年10月25日(日)
会 場	國學院大學博物館、横浜関帝廟、横浜媽祖廟
講 師	網谷哲成(國學院大學博物館学芸員)
主 催	國學院大學博物館
協 力	横浜関帝廟、横浜媽祖廟
参加人数	24名

体験

美術文化フォーラム2「村上華岳と京都、そして日本文化へ」

日 付	平成27年11月14日(土)
会 場	國學院大學常磐松ホール
講 師	第1部 フォーラム 講演①：山崎妙子(山種美術館館長) 「村上華岳ー京都画壇の画家たち」 講演②：上村淳之(日本画家、公益財団法人 松柏美術館館長) 「祖母・松園と父・松篁」 講演③：笹生衛(國學院大學博物館館長) 「日本文化の源泉と信仰ー神仏信仰の変容と日本の精神性の形成ー」
	第2部 クラリネットコンサートー美術と音楽の調べー 演奏：吉田誠(クラリネット奏者) 企画・構成：瀧井敬子(音楽学者、音楽プロデューサー)
主 催	國學院大學博物館、山種美術館
参加人数	第1部 230名 第2部 205名

渋谷

平成27年度渋谷学研究会ワークショップ
まち歩き「渋谷の記憶を辿るー常磐松界限を歩くー」

日 付	平成27年11月21日(土)
会 場	渋谷名所各所
案 内 人	飯倉義之(國學院大學准教授) 服部比呂美(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員)
主 催	國學院大學渋谷学研究会、國學院大學博物館
共 催	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
参加人数	30名

国際

國學院大學博物館 国際シンポジウム・ワークショップ2015
「博物館の国際的ネットワーク形成と日本文化研究」

日 付	平成27年12月12日(土)、13日(日)
会 場	國學院大學常磐松ホール
パネリスト 他	12日 国際シンポジウム 【パネリスト】 マティ・フォラー〈オランダ：ライデン国立民族学博物館〉 サイモン・ケイナー〈イギリス：セインズベリー日本藝術研究所〉 ミシェル・モキユエール〈フランス：ギメ美術館〉 アン・ニシムラ・モース〈アメリカ：ボストン美術館〉 アレクサンダー・シニーツィン〈ロシア：ピョートル大帝記念人類学・民族学博物館[クンストカメラ]〉 【コメンテーター】 井上洋一〈東京国立博物館〉 【司会】 中牧弘允〈吹田市立博物館、国立民族学博物館〉
主 催	國學院大學博物館
後 援	日本経済新聞社、日仏会館・フランス日本研究センター、全日本博物館学会、渋谷区
参加人数	12日 138名 13日 105名

ワークショップ「妖怪絵巻をつくろう！」

日 付	平成28年1月24日(日)
会 場	國學院大學博物館
講 師	渡邊卓(國學院大學助教)
主 催	國學院大學博物館
参加人数	46名

企画展

特別展

* 國學院大學博物館の企画展示室で行った展示です

企画展	収蔵品展
会 期	平成27年4月13日(月)～5月17日(日)
主 催	國學院大學博物館
会期中入館者数	3,345名
ミュージアム トーク	平成27年5月2日(土) 12：15～12：45 大東敬明(國學院大學准教授)
	平成27年5月16日(土) 12：15～12：45 大東敬明(國學院大學准教授)、石井匠(國學院大學博物館学芸員)

企画展	教派神道の教祖と儀礼
会 期	平成27年6月1日(月)～6月30日(火)
主 催	國學院大學博物館
共 催	教派神道連合会
会期中入館者数	4,211名
ミュージアム トーク	平成27年6月13日(土) 15：30～16：00 中山郁(國學院大學准教授)
	平成27年6月20日(土) 15：30～16：00 井上順孝(國學院大學教授)

企画展	國學院大學学びへの誘いー明治国家と法制官僚ー井上毅歿後120年記念
会 期	平成27年7月11日(土)～8月7日(金)
主 催	國學院大學
後 援	渋谷区、毎日新聞社、國學院大學若木育成会、一般財団法人國學院大學院友会
会期中入館者数	5,193名
プロガー内覧会	平成27年7月10日(金) 17：30～19：00 齊藤智朗(國學院大學准教授)
ミュージアム トーク	平成27年7月18日(土) 13：30～14：00 齊藤智朗(國學院大學准教授)

渋谷

企画展	<SHIBUYA>
会 期	平成27年8月22日(土)～9月30日(水)
主 催	國學院大學博物館、國學院大學渋谷学研究会
後 援	渋谷区、毎日新聞社
協 力	井賀孝、岡本太郎記念館、株式会社東急百貨店、川崎市岡本太郎美術館、金王八幡宮、渋谷中央街、渋谷氷川神社、清水建設株式会社、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館、東急グループ、東京急行電鉄株式会社、富沢瑞夫、明治神宮、大和市、吉村美術研究所、MASS RHYTHM(藤原惇・南陽平・高橋優)
会期中入館者数	6,757名
ミュージアム トーク	平成27年9月5日(土) 12：30～13：00 秋野淳一(國學院大學研究開発推進機構PD研究員)
	平成27年9月12日(土) 15：30～16：00 石井匠(國學院大學博物館学芸員)
	平成27年9月26日(土) 15：30～16：00 上山和雄(國學院大學教授)

特別展

江戸のベストセラー『唐詩選』の世界

会 期	平成27年10月3日(土)～11月15日(日)
主 催	國學院大學博物館
会期中入館者数	7,717名
ミュージアム トーク	平成27年10月10日(土) 12：30～13：00 平成27年10月17日(土) 12：30～13：00、14：30～15：00 赤井益久(國學院大學学長)

企画展

神仏・異類・人ー奈良絵本・絵巻にみる怪異ー

会 期	平成27年11月21日(土)～平成28年2月7日(日) 前期：平成27年11月21日(土)～12月23日(水) 後期：平成28年1月8日(金)～2月7日(日)
主 催	國學院大學博物館
会期中入館者数	8,932名
ミュージアム トーク	平成27年11月21日(土) 14：00～14：30 針本正行(國學院大學教授)
	平成27年12月19日(土) 12：30～13：30 荒木優也(國學院大學兼任講師、國學院大學研究開発推進機構PD研究員)
	平成28年1月9日(土) 12：30～13：00 荒木優也(國學院大學兼任講師、國學院大學研究開発推進機構PD研究員)
	平成28年1月23日(土) 12：30～13：00 大東敬明(國學院大學准教授)
ワークショップ	「妖怪絵巻をつくろう！」 平成28年1月24日(日) 10：30～12：00、14：00～15：30 渡邉卓(國學院大學助教)

企画展

花鳥風月 柄鏡の美～服部和彦氏寄贈コレクションを中心として～

会 期	平成28年2月11日(木)～3月13日(日)
主 催	國學院大學博物館
会期中入館者数	2,933名
ミュージアム トーク	平成28年2月13日(土) 14：00～14：30 内川隆志(國學院大學教授)
	平成28年3月5日(土) 14：00～14：30 内川隆志(國學院大學教授)

企画展

中世の古文書をよむ～國學院大學所蔵の重要文化財「久我家文書」を展示～

会 期	平成28年3月19日(土)～4月17日(日)
主 催	國學院大學博物館
後 援	毎日新聞社
ミュージアム トーク	平成28年3月26日(土) 14：00～14：30 千々和到(國學院大學教授(特別専任))
	平成28年4月9日(土) 14：00～14：30 堀越祐一(國學院大學兼任講師、國學院大學研究開発推進機構客員研究員)

特集展示

* 國學院大學博物館内で行った小規模な展示です

特集展示

番附にみる天下祭(神道展示室)

会 期	平成27年5月2日(土)～5月24日(日)
主 催	國學院大學博物館

特集展示

夏の祭－祇園祭と天王祭－(神道展示室)

会 期	平成27年7月11日(土)～8月30日(日)
主 催	國學院大學博物館
ミュージアム トーク	平成27年7月18日(土) 14：30～15：00 大東敬明(國學院大學准教授)

地域

特集展示

近代日本におけるイスラム教－東京回教礼拝堂と回教学校－

会 期	平成27年10月1日(木)～12月16日(水)
主 催	國學院大學博物館
協 力	東京ジャーミイ・トルコ文化センター
ワークショップ	平成27年10月4日(日) 12：00～16：00 「世界の宗教を知る」ワークショップ第2回 「アッサラム・アレイクム!－渋谷のモスクでムスリム文化にふれる－」

特集展示

学徒出陣と國學院大學－出陣学徒の“ことば”－(校史展示室)

会 期	平成27年10月10日(土)～11月10日(火)
主 催	國學院大學博物館

特集展示

戦後70年 戦没考古学徒の足跡－神林淳雄の遺した資料を通して－(考古展示室)

会 期	平成27年10月10日(土)～11月10日(火)
主 催	國學院大學博物館

体験

特集展示

江戸の錦絵 上方の合羽摺

会 期	平成27年10月27日(火)～11月15日(日)
主 催	國學院大學博物館

地域

特集展示

山岳信仰の考古学－山を仰ぎ、山に登る－

会 期	平成27年11月12日(木)～平成28年3月31日(木)
主 催	國學院大學博物館

特集展示

天神さま(神道展示室)

会 期	平成28年1月30日(土)～3月13日(日)
主 催	國學院大學博物館

特集展示

穂高古墳群 F9号墳－考古学実習速報展－

会 期	平成28年2月26日(金)～5月7日(土)
主 催	國學院大學博物館、國學院大學考古学研究室

相互貸借特集展示

* 國學院大學博物館と西南大学博物館の協定に基づく展示です

相互貸借特集展示

ともし火の系譜－古代ランプからユダヤの祭具－

会 期	平成27年4月20日(月)～9月4日(金)
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館
会 場	國學院大學博物館
ミュージアム トーク	平成27年9月4日(金) 14：30～15：00 内島美奈子(西南学院大学博物館学芸研究員)

相互貸借特集展示

聖なる光－魔鏡－

会 期	平成27年4月25日(土)～11月7日(土)
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館
会 場	西南学院大学博物館

相互貸借特集展示

宗門人別改帳にみる近世社会

会 期	平成27年9月5日(土)～12月23日(水)
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館
会 場	國學院大學博物館
ミュージアム トーク	平成27年12月12日(土) 11：00～11：30 野藤妙(西南学院大学博物館学芸研究員)
	平成27年12月12日(土) 15：00～15：30 安高啓明(熊本大学文学部准教授、國學院大學研究開発推進機構共同研究員)

相互貸借特集展示

イト・ナの東－いくつもの弥生文化－

会 期	平成27年11月18日(水)～平成28年2月15日(月)
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館
会 場	西南学院大学博物館
ミュージアム トーク	平成27年11月18日(水) 15：30～16：30 柳田康雄(國學院大學研究開発推進機構客員教授)

相互貸借特集展示

異国イメージ I－紅毛人から阿蘭陀人へ－

会 期	平成28年1月8日(金)～4月23日(土)
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館
会 場	國學院大學博物館
ミュージアム トーク	平成28年4月23日(土) 14：00～14：30 安高啓明(熊本大学文学部准教授、國學院大學研究開発推進機構共同研究員)

相互貸借特集展示

天神人形－各地の天神さま－

会 期	平成28年2月15日(月)～5月25日(水)
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館
会 場	西南学院大学博物館

貴重資料レプリカ展示

＊國學院大學博物館の貴重資料レプリカを外部の施設等で展示する企画です

貴重資料レプリカ展示

渋谷ヒカリエ

会 期	平成27年9月3日(木)～10月31日(土)
会 場	渋谷ヒカリエ 8階

貴重資料レプリカ展示

天童市西沼田遺跡公園

会 期	平成27年12月23日(水)～平成28年2月16日(火)
会 場	天童市西沼田遺跡公園

執筆者一覧

執 筆

赤井 益久	國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会委員長 國學院大學学長
井上 順孝	國學院大學研究開発推進機構長 國學院大學神道文化学部教授
笹生 衛	國學院大學博物館館長 國學院大學神道文化学部教授
内川 隆志	國學院大學研究開発推進機構教授
大東 敬明	國學院大學研究開発推進機構准教授
深澤 太郎	國學院大學研究開発推進機構准教授
渡邊 卓	國學院大學研究開発推進機構助教
高野 裕基	國學院大學研究開発推進機構助教
石井 匠	國學院大學博物館学芸員
網谷 哲成	國學院大學博物館学芸員
陣内 理良	國學院大學博物館学芸員
及川 聡	國學院大學学術メディアセンター事務部長

執筆協力

公益財団法人 山種美術財団
公益財団法人 東洋文庫
渋谷区

平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業)

東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業 報告書

発行年月 平成28(2016)年3月
編集・発行 國學院大學博物館地域協働連携事業実行委員会/國學院大學
連絡先 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學博物館
TEL : 03-5466-0359、FAX : 03-5466-6697
<http://museum.kokugakuin.ac.jp/>
印刷 株式会社 秀飯舎